

## 海外短信

# 長江デルタ地区を注視、 上海大都市圏の成長にあわせた対策を



俞 彭年\*

## I . 長江デルタ地区周囲の動き

1 . 中国・ASEAN 6 カ国(タイ、マレーシア、シンガポール、ブルネイ、インドネシア、フィリピン)自由貿易区が2010年1月1日にスタートして、約9割の品目がゼロ関税の時代に入った。

カンボジア、ミャンマー、ラオス、ベトナムの4カ国との自由貿易区は2015年までに完成を目指している。

2 . 中日韓三国自由貿易区の構築は加速されるか

\* 第三回中日韓首脳会談が2010年5月29日から30日まで韓国の済州島で開かれて、次のことが合意された。

- ① 2012年までに中日韓自由貿易区に関する共同研究を終える。
- ② 自由貿易交渉を加速するため、2011年韓国に三国協力事務局を設置する。

\* 中国国務院発展研究センターは次のデータを発表している。

	人口	経済総量	注
中国	13.3億	アジアで2位	
日本	1.2億	アジアで1位	
韓国	0.5億	アジアで4位	
中日韓自由貿易区	15億	アジアの7割 世界の2割	EUと北米に次ぐものとなる

3 . 中国大陸と台湾との経済協力枠組み協定(ECFA、実質はFTAと変わらず)は2010年6月末に締結された。台湾当局の立法院は2010年8月にその協定を批准した。2011年から協定が実施される見込みである。

ECFAが実施されれば、中国大陸、台湾、香港・マカオの三地は連携されて一大経済圏を構成することになる。いわゆる「大中華圏」の出現となる。

4 . 日本貿易振興機構(ジェトロ)の2010年版の世界貿易投資報告ではFTA時代に取り残される日本に警鐘を鳴らしている。FTAを本格的に利用し始めたアジア各国に対し、日本は締結する段階で出遅れている。ジェトロ国際経済研究課の東野大課長はこう述べている。FTAで出遅れて日本企業の価格競争力が不利になり、日本の輸出にマイナスの影響を与える可能性もある。海外市場の活力を取

\* 県立シーボルト大学名誉教授、長崎県立大学リエゾンオフィサー

り込むにはFTAの締結を急ぐ必要がある、と。

## Ⅱ．長江デルタ地区を注視

1．2010年5月24日、中国国務院は「長江デルタ地区計画」を認可した。以下はそれに決められた事項である。

長江デルタ地区の範囲：

上海市、江蘇省、浙江省。(1市2省)

発展の戦略的位置づけ：

中国のアジア・太平洋地域に向けられた門戸となる。

世界の重要な現代型サービス業センターとなる。

世界の重要な先進的製造業センターとなる。

世界の六大都市圏の一つとなる上海大都市圏を構成する。

発展の目標：

全国に先駆けて2015年に全面的小康社会建設を達成すること(全国は2020年に達成する予定)

全国に先駆けて2020年に近代化を基本的に実現すること(全国は2050年に実現する予定)

(大都市圏の核心都市上海市はすでに国務院から国際金融センターならびに国際海運センターになるよう位置づけされている)

2．長江デルタ地区の概況

	面積(平方km)	人口	GDP(兆元)	貿易額(億ドル)	財政収入(億元)
上海市	0.634万	1888万	1.3698	6065.57	2382.34
江蘇省	10.26万	7676万	3.0312	3922.68	2731.41
浙江省	10.18万	5120万	2.1487	2111.09	1933.39
長江デルタ	21.07万	1.47億	6.5497	1.209兆ドル	7047.19

(それぞれの2009年の統計年鑑による)

3．長江デルタ地区の全国に占める比重

	面積(平方km)	人口	GDP(兆元)	貿易額(兆ドル)	財政収入(億元)
長江デルタ	21.07万	1.47億	6.5497	1.2092	7047.19
全国	960万	13.2億	30.0670	2.5632	61330.35
占める比重	2.2%	11.2%	21.93%	47.17%	11.49%

(全国のデータは2009年中国統計年鑑による)

4．上海大都市圏に含まれる都市(現在は16都市)

上海市、南京、蘇州、無錫、常州、鎮江、南通、揚州、泰州(以上8都市は江蘇省)、杭州、寧波、湖州、嘉興、紹興、舟山、台州

(以上7都市は浙江省)

## Ⅲ．参考とする世界の五つの大都市圏

\* ニューヨーク大都市圏

ニューヨーク、ボストン、ワシントン、フィラデルフィア、ボルティモアの五大都市と40の中小都市からなる。

\* 北米五大湖大都市圏

シカゴ、デトロイト、クリーブランド、ピッツバーグ、トロント、モントリオールなど人口百万以上の都市20余りからなる。

\* パリ大都市圏

パリ、アムステルダム、ロッテルダム、アントワープ、ブリュッセル、ケルンなど4カ国の人口10万以上の40余りの都市からなる。

\* ロンドン大都市圏

ロンドン、バーミンガム、シェフィールド、マンチェスター、リバプールなどの大都市と多くの中小都市からなる。

\* 東京大都市圏

東京都都市圏、関西都市圏、名古屋都市圏の三つの都市圏からなる。

#### IV . 長江デルタ地区の都市間鉄道整備

1 . 都市間鉄道(中国語は「城際軌道交通」「城際鐵路」とは旅客輸送専門の鉄道である。今その整備が着々と進んでいる。整備構図は「一大ネットワーク・五大通路・三大中心」とされる。

\* 一大ネットワークとは所要時間が1時間ないし2時間の都市間交通網である。

\* 三大中心とは上海市、南京市(江蘇省省都)、杭州市(浙江省省都)を指す。

\* 五大通路とは上海 南京都市間鉄道、上海 杭州都市間鉄道、南京 杭州 寧波都市間鉄道、寧波 台州 温州鉄道、上海 南通都市間鉄道のことである。

#### 2 . 整備状況

\* 上海 南京都市間鉄道: 301km、高速列車、最短所要時間73分、最小間隔5分、2010年7月1日に開通。

\* 上海 杭州都市間鉄道: 158.5km、高速列車、最短所要時間40分、最小間隔8分、2010年10月1日に開通予定。

\* 南京 杭州都市間鉄道: 248.96km、高速列車、最短所要時間60分、最小間隔3分、2010年末に開通予定。

\* 杭州 寧波都市間鉄道: 149.89km、高速列車、最短所要時間26分、2011年末に開通予定。

\* 寧波 台州 温州鉄道: 283.39km、最短所要時間2時間足らず、すでに2009年上半期に開通。

\* 上海 南通都市間鉄道: 企画中。南京 上海、南京 啓東、上海 南通の三線による長江デルタ北部地区の環状都市間鉄道を構成、上海、南京、江蘇南部、江蘇中部の都市を連結、1周所要時間2時間、よって南通が長江デルタ地区の北翼の中核となる。

#### V . 長江デルタ地区の橋梁整備

##### 1 . 橋梁整備

長江デルタ地区の交通整備は鉄道整備のほか、高速道路整備も着々と進んでいる。地形の特徴として、長江やその他の河川が縦横に走り、海岸線が長く、離島も多い。そのため橋梁整備が重要視されている。

##### 2 . 整備状況

\* 江陰 靖江長江大橋(通称「江陰長江大橋」): 全長3km、1999年9月に開通。

- \* 鎮江 揚州長江大橋（通称「潤揚長江大橋」）: 全長35.6km、2005年4月に開通。
- \* 上海 寧波杭州湾大橋（通称「杭州湾大橋」）: 全長36km、2008年5月に開通。
- \* 蘇州 南通長江大橋（通称「蘇通長江大橋」）: 全長32.4km、2008年6月に開通。
- \* 上海 崇明長江トンネル・大橋（通称「上海崇明長江隧橋」）: トンネル8.9km、大橋10.3km、2009年10月に開通。
- \* 寧波 舟山大橋（通称「舟山大橋」）: 全長46.5km、2009年12月に開通。

## Ⅵ．長江デルタ地区の発展にあわせた対策を

日本の九州圏は東中国海を挟んで、長江デルタ地区と向き合っている。歴史上、両者はいろんな分野で長い交流を続けてきた。この歴史を今後はどう生かしていくべきかは大きな課題であろう。

中日韓三国の自由貿易区が実現した暁、長江デルタ地区と九州圏との経済交流はどのように展開されていくのだろうか。展望と対策を今から研究すべきではなかるうか。

長崎県立大学は経済学部と国際情報学部でFTA時代に適した人材を養成すべきであろう。通俗にあって、競争力のある「中国通」と「韓国通」を社会に送り出し、語学の面では英語のほかに、「中国通」は実践的中国語、「韓国通」は実践的韓国語が堪能でなければならないだろう。